

森のおくりもの 1月



落ち葉の午：高橋千尋（レンジャー）

新年あけましておめでとうございます。またまた新しい年がやってきました。今年も太白山自然観察の森をよろしくお願いたします。スタッフ一同、新たな気持ちでがんばろうと、昨年以上にはりきって皆様のお越しをお待ちしております。
(館長 菊池正行)

オレンジのチョッキがよく似合う 『ヤマガラ（山雀）』



森の中で一年中見られる鳥（留鳥）です。冬の間はシジュウカラやコゲラなど、他の小鳥と交じっている（混群）ことが多く、観察センター「野鳥のレストラン」の常連さん。ヨシの湿地付近のスギ（樹皮の間）に、ヒマワリの種を見つけました。隠したのは…だれでしょう？

●エサは虫の他、木の種を好みます。どんぐりやエゴノキ、ツノハシバミなどの堅い実を両脚で抑えて、くちばしで割り食べる姿は近くで見られることもあります。「野鳥のレストラン」では、ヒマワリの種を割って食べています。

●人馴れしやすく、学習能力が高いので、昔は**おみくじをひく芸**をするヤマガラが神社などで見られたようですが、野鳥を飼うことは法律で禁じられていますので、もう見ることはできなくなりました。

突にぶらさがる



足指でおさえる



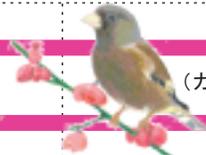
●ヤマガラは、秋になると木の実を幹の割れ目などにつめて貯めておく習性（貯食）があります。1~2月ごろになると、隠しておいた木の実を取り出して食べています。以前巡回している際に、「はおとの道」の柵の穴に、エゴノキの実を隠しているヤマガラを見ました。すると、私に気が付いたヤマガラはなんと私に向かって飛んできたのです。これには、ちょっとびっくりして、ひるんでしまいました。普段はかわいいと思って見ていたヤマガラですが、このときはちょっと強気な姿を垣間見た気がします。もしかして、横取りすると思われた？

【レンジャー：黒川周子】

* 「貯食」する鳥は、ヤマガラの他にも、ヒガラ、コガラ、ゴジュウカラ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、カケスなどにも見られます。

1月の生物ごよみ

野鳥

	12月		1月		2月
	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬
ルリビタキ	 (ルリビタキ)		 (カワラヒワ)		
カワラヒワ					
ミソサザイ	 (ミソサザイ)		 (ウソ)		
ウソ					
カシラダカ	 (カシラダカ)				
ククイタダキ					 (ククイタダキ)
アトリ	 (アトリ)		 (ツグミ)		
ツグミ					

バードテーブルに集まって来た小鳥たち

12月初めからスタートしたバードテーブル。今年はいつもの年より野鳥の集まりがいまひとつ。それでも日に日に種類が増えてきました。



常連のヤマガラは今年も一番のり。ヒマワリの種を何度も運んで食べていました



最近カケスも覚えたのか餌台によくやってきます。羽のブルーがとてもきれいです。



常連二番手のシジュウカラ。胸のネクタイがとても可愛いです。



毎年やってくるアカハラ。臆病なのかすぐいなくなります。



今年のスズメは遠慮がち。なかなか餌台には上がってくれません。



ガビチョウもたまに顔を見せませす。(特定外来生物に指定されています)

【レンジャー：齋 正宏】

レンジャー花 木もれびBLOG



略してコモブロ 第20回『音と色のない世界へようこそ』

森が積雪で覆われる季節…。積もった雪は吸音材の効果もあり、静かな森をさらに静かに覆ってくれます。上を見上げると、葉が落ちて見通しがよくなり、森の中からも空が見渡せるようになっています。

そんな枝ごしにオオタカやノスリが悠々と音も無く空を飞翔している姿をみることもあります。

雪の色は白。白は色がついていないということです。舞い落ちた雪が、音も色もすべて包み隠してしまったのでしょうか。いいえ、そうではありません。

耳をすませば、野鳥の小さな声やリスが落ち葉をかきわける“カサカサ”という音が聞こえるかも知れません。また、枝先に残された木の実の赤や冬でも枯れない葉の緑、それから逆光に輝く雪の虹色などに気づくことがあります。

音や色の情報が少ない季節だからこそ、普段気にとめていない音や色に気をつけてみてはいかがでしょうか。



【レンジャー：高橋千尋】

木橋の改修工事が終わりました

駐車場からネイチャートレイルに入って最初の木橋は、老朽化が進んでいて、利用者の皆様には長らく不安な思いをさせてまいりましたが、昨年12月にやっと補修工事が終わり、安心して渡れるようになりました。ただ、雪や雨で濡れているときは滑りやすくなっていますので、十分に注意してご利用下さい。



また「いこいの道」沿いでは斜面の崩壊を抑えるための土留め工事を行っています。土留めの板から若干防腐剤の匂いがして、ご迷惑をおかけしますが、観察路を維持するために必要な工事ですので、ご理解とご協力をお願いいたします。



今年の森もおもしろいことがたくさんありそうです！

新年を迎え、新たな森のはじまりです。と言ってはみても、大きく変わることはないのも自然の良さではないでしょうか。しかし、そんな森の中でも、新たな発見や変化を目にすることが結構あるものです。

昨年の12月から例年同様に設置したハードテーブルでも、ちょっとした変化が見られております。設置後2週間ほど経過しても、野鳥がまったくと言ってよいほど集まってきませんでした。今回は「野鳥のレストラン」と銘打って開始したことから、野鳥たちが、「野鳥を食べるレストラン」との勘違いで警戒し集まらなかったとは思いますが、例年とは明らかに違っておりました。

しかしその中でも、たった1羽だけが今回のバードテーブル開設当初から毎日来ておりました。しかも、朝はセンターの職員よりも早く来ていて、夕方までたった一羽で黙々と餌台の餌をついばんでおり、少々のことでは逃げようともしません。鳥の種類は写真を見ていただければ皆様すぐにお分かりいただけるかと思えます。そうです！皆様に一番おなじみの野鳥のスズメなのです。

でも、写真をじっくり見ていただくと、普通のスズメとちょっと様子が違うことにお気づきになると思います。そうです！尾がないのです。もともとないのか、動物に襲われたのかわかりません。たいへんかわいそうな気はしますが、一方で、餌を食べ続けているせいなのか、体全体がふっくらしており、さらに尾がないせいでまん丸に見え、本人（鳥）？の思いとは別にたいへん可愛い形をしております。ともあれ、これからも継続してやさしく見守ってみたいと思っております。



最近よく来る尾なしスズメ



ヒマワリの種を食べるアカネズミ

それとは別に、今回のバードテーブルには、鳥以外の新たなかわいい仲間が加わっております。それは写真のアカネズミです。バードテーブルがある地面に巣穴を作り住んでおります。時々穴から出てきて、地表に落ちている鳥用の餌を両前足で持って食べております。そのかわいらしさに癒される方も多いのではないのでしょうか。今年も多くの皆様のお越しを心よりお待ちしております。【館長 菊池正行】



1月のイベント & お知らせ

◆フィールドサイン観察会「雪の上の足あとだあれ？」

1月25日(土) 10:00 ~ 14:00

野生動物が残した足あとなどを探しながら雪の森を歩きます。
午後からはレンジャーが撮影した野生動物のスライド上映会を開催。



- 【対象】動物や冬の自然に興味のある方
- 【募集】先着20名
- 【持ち物】昼食、飲み物、防寒具など
- 【料金】無料
- 【申込み】1月7日(火)午前9時から電話で受付を開始。

← 去年の観察会の様子です。



◆『野鳥のレストラン』開店中！ ※3月30日(日)まで

自然観察センター研修室の窓から見える場所に、バードテーブル(餌台)を設置しています。館内の暖かい場所からじっくりとバードウォッチングを楽しむことができますよ。

毎週
日曜は

『ガイドウォーク』の日！

1月の開催日は
5日, 12日, 19日, 26日

開催時間10:00a.m. ~ 11:30a.m.

申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。

※12月~3月の間は午前中のみ開催となります。



表紙の絵や
原稿を募集
しています。

里山や自然に関するものを
描いて(書いて)ね！
レンジャーからのプレゼント
があるよ！！

イベント申込用



1月の休館日

1 ~ 4日, 6日,
14日, 20日, 27日

♪森へおいでください♪



宮城交通バスの場合

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅から
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



Webから「森のおくりもの」バックナンバーが
ご覧になれます。

「太白山 森のおくりもの」で検索。

「社のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>

2014年1月号 (毎月1回5日発行)

発行: (公財) 仙台市公園緑地協会

編集: 仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

E-mail: taihakusan_moushikomi@sendai-green-association.jp